

みなみちた 議会だより

第142号

平成25年2月1日



弓祭り（豊丘乙方）

◇ 12月定例議会

一般会計補正予算など17議案を可決	2ページ
委員会スポット	3
町の考えは・一般質問7氏	5
議会日誌・表紙の写真	12

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18
発行/南知多町議会 ☎65-0711
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

12月定例会



▲正月を彩る大漁祈願の旗(師崎港)

 12月定例会は、12月11日に開会し、10日
 間の会期を経て、町長提案の一七議案を可決、
 意見書等(議員提案)四件を否決して12月20日
 に閉会しました。

議案の審議結果

(○)可決 ×否決

議長は賛否に含みません。

予算関係

○平成24年度一般会計補正予算(第七号)

補正額 △三九、八〇四千円

(補正の主な内容)

・職員等 person 費、知多南部消防組合分担金、知多南
 部衛生組合分担金の減 (全員賛成)

○平成24年度介護保険特別会計補正予算(第二号)

補正額 三二四千円

(補正の主な内容)

・介護保険システム改修事業委託料の増、職員人件
 費の減 (全員賛成)

○平成24年度水道事業会計補正予算(第二号)

補正額 一三、〇三八千円

(補正の主な内容)

・職員人件費の減、資産減耗費の増 (全員賛成)

条例関係

○町営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制
 定 (全員賛成)

○高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な
 特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定
 (全員賛成)

○水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関
 する条例の制定 (全員賛成)

○証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条
 例 (全員賛成)

○都市公園条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

○町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正
 する条例 (全員賛成)

○水道事業の設置等に関する条例及び水道事業給水条
 例の一部を改正する条例 (全員賛成)

○国民健康保険条例の一部を改正する条例 (全員賛成)

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正す
 る条例 (全員賛成)

その他の議案

○専決処分の承認（平成24年度一般会計補正予算第四号）

補正額 一四、七八五千円

（補正の主な内容）

・海岸施設、道路橋りよう施設等の災害復旧工事費

（全員賛成）

○専決処分の承認（平成24年度一般会計補正予算第五号）

補正額 一四、七三五千円

（補正の主な内容）

・12月16日執行の衆議院議員選挙及び最高裁判所

裁判官国民審査費

（全員賛成）

○専決処分の承認（平成24年度一般会計補正予算第六号）

補正額 三、〇三〇千円

（補正の主な内容）

・12月27日執行の愛知海区漁業調整委員会委員補欠

選挙費

（全員賛成）

○知多地方視聴覚ライブラリー協議会の廃止

（全員賛成）

○財産の交換（知多南部卸売市場株式会社株式）

（全員賛成）

意見書

×生活保護法の改悪に反対する意見書

（賛成1反対10）

×再来年の消費税増税実施の中止を求める意見書

（賛成1反対10）

×即時原発ゼロを決断し、再生可能エネルギーの普及を求める意見書

（賛成1反対10）

×M・V・22オスプレイの配備及び飛行訓練に反対する意見書

（賛成1反対10）



予算関係

○一般会計補正予算（第七号）（環境課関係）

問 離島事業系ごみ収集運搬委託料の補正により、町の負担額が事業費の二分の一となるのか。



▲離島のゴミ収集

答 今回、二二八万四千円を補正することにより、事業費の二分の一を町が負担することになる。



予算関係

○一般会計補正予算（第七号）（産業振興課関係）

問 青年就農給付金は一回しか受給できないのか。

答 青年就農給付金は取納してから最長で五年間受給できる。所得制限があり、前年の所得が二五〇万円以上になった翌年は支給停止になるが、その五年のうち二五〇万円未満になれば、支給が再開される。

問 今回対象となる人たちは、何を栽培しているのか。

答 今回対象となる七人と一組の夫婦は主に露地野菜を栽培し、うち一人はハーブも栽培している。

条例関係

○高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例（建設課関係）

問 この条例の特定公園施設とは何か。

答 政令で定める公園の施設であり、出入り口、駐車場、便所など二施設ある。

○水道事業の布設工事監督者及び水道技術者に関する条例（水道課関係）

問 布設工事監督者は、水道課に三年在籍すれば、資格を取得できるのか。

答 そのとおりである。



▲新しく農業を始めた青年(豊浜初神)

問 技術管理者の資格はどうか。

答 町条例第四条第一号に定めているとおり、布設工事監督者の資格があれば、技術管理者の資格も取得できます。

○証人等の実費弁償に関する条例の一部改正(総務課関係)

問 証人等の実費弁償とは何か。

答 議会の委員会、選挙管理委員会、農業委員会などに参考人として出頭していただいたときに旅費を支給するものです。

一 般 質 問

- | | | |
|-----|--------|--|
| 1 番 | 榎戸陵友議員 | (1) 本町の防災対策を問う |
| 2 番 | 吉原一治議員 | (1) 被災地の復興計画から学ぶことについて
(2) 結婚支援事業の継続について |
| 3 番 | 榎本芳三議員 | (1) 暴力団追放運動について
(2) 防災倉庫の見直しについて
(3) 内海高校面の道路舗装について |
| 4 番 | 竹内壽一議員 | (1) 若者の定住化対策の促進を
(2) 教育委員会活動の点検及び評価の結果に関する報告書について |
| 5 番 | 松本 保議員 | (1) 内海バイパス完成に向けて |
| 6 番 | 鳥居恵子議員 | (1) 子育て環境の整備について
(2) 生活していける町としての産業振興対策を |
| 7 番 | 山下節子議員 | (1) 障がい者が安心して暮らせる町づくりを
(2) 火葬場の改築に命の尊厳を
(3) 知多南部広域環境組合について |

本町の防災対策を問う



榎戸陵友議員

答 渡辺総務部長
大地震が勤務時間中に発生した場合は、災害対策実施マニュアルに沿って行動がとれると思う。時間外に発生した場

問 11月初旬に宮城県の大震災を視察した。恐るべき大地の揺らぎと、とてもつらい海嘯(潮津波)をもつて無数の命を奪い去った大震災。とても現実とは思えない災禍のあとを前にした。言葉がない。まるで、いまも時間が止まっているように感じた。一日も早く、元の平穏な暮らしに戻ることを祈るばかりだ。この視察の経験を通して改めて南知多町の防災対策について問う。大地震が発生した場合、災害対策本部が設置されると考えるが、その体制は万全か。また訓練は実施されたか。

合は、所定の場所への参加が困難となることも考えられる。訓練の実施については、非常呼集訓練、現地調査訓練、情報伝達訓練、避難所開設訓練を実施している。

問 津波の来襲は何分後と予想しているか。また、その間の対応策をどのように考えているか。

答 三七分程度でその間の対応策は、メールサービスによる配信やケーブルテレビによる緊急告知放送、津波高潮防災ステーションからのメール配信、サイレンなどで対応する。

問 本町の役場、並びにアンテナの耐震強度は万全か。また自家発電による非常用電源は整備されているか。

答 防災の拠点となる役場本庁舎の耐震強度については、耐震基準は充たしている。来年度計画をしている同報系防災行政無線の各アンテナは、

耐震性に配慮する考えである。非常用電源については、本庁舎に非常用自家発電機を配備している。

問 震災では、現場の消防団員に情報が届かず多数犠牲となったが、本町ではどのような情報伝達の手段を考えているか。

答 参集等の指示は、携帯電話やメールで行い、現場での情報収集は消防団用トランシーバーも使用する。また、同報系防災行政無線の整備の中で、携帯型移動系無線機の活用も検討していきたい。

問 防災について各地区にどのような指導をしているか。

答 9月に地域防災リーダー養成講座を開催した。今後は防災まちづくり講演会の開催や、自主防災組織の関係者を対象とした研修会を予定している。

問 本町の食料や飲料水の備蓄は万全か。

答 現在、備蓄は、七、八八〇食。飲料水は、保存用ペットボトル、〇〇八本のみだが、各配水池の水源が確保される見込みである。

問 各サービスセンターや小中学校の耐震強度は万全か。

答 大森教育長
小中学校については、本年度ですべての躯体の耐震補強工事が完了し、サービスセンターについては、四カ所のうち、内海と篠島が基準値を下回っている。

問 山元町の中浜小学校では、児童、教職員、近所の人々など九〇人が屋上に避難して津波から助かった。本町の小中学校は、屋上へ避難ができるのか。出来ないのであれば検討してはどうか。

答 海岸に近い三つの学校のうち、内海、豊

浜小学校については、屋上への避難は階段及び待機スペースが狭く、師崎中学校は梯子しか設置されていない。また二階建てのため高さが確保できない。

問 高台への避難路建設・整備は、何カ所実施したか。また、何件要望が出ているか。

答 平山建設経済部長
建設・整備については、九カ所。要望件数は、合計一二件である。



被災地の復興計画から学ぶことについて



吉原一治議員

問 11月に東日本大震災の被災地、宮城県の山元町と亶理町を訪れ、津波からの避難路整備の重要性を聞いた。今、本町で開かれている地区住民会議においても、避難路や一次避難場所の整備を求める声が多くあがっている。高台へと逃げる避難路の整備は早急に取り組まなければならない喫緊の課題である。今後どのようにして整備していく考えか。

答 平山建設経済部長 本年度においては、各地区で選定された避難路の修繕要望が一二カ所ある。今後も地域の要望を受け順次整備していく。

問 山元町では、町の四〇パーセントが津波で浸水した。東海・東南海地震により本町で想定される津波の被害を受ける地域には、人口の何パーセントの人が住んで

いるか。

答 渡辺総務部長 本町での最高津波高は、一〇メートルと予想されている。単に海拔一〇メートル未満の地域が被害を受けるとした場合、概ね一万六千人の方が被害を受けることとなる。これは、本町の総人口の八〇パーセントに当たる。

問 被災地においては、基幹産業が甚大な被害を受けた。山元町では、町のブランド品であるイチゴのハウスが壊滅的被害を受けた。山元町では、

害を受けた。この町では今、震災からの復興計画を策定し、イチゴハウスをより内陸部に移し、集団化して災害に強い産業の復興に努めている。本町の基幹産業である漁業の拠点施設は、海岸近くに立地し、老朽化も進んでいる。災害から町の産業を守るため被災地の復興計画から学ばなければならぬ。地震や津波の被害が心配されるが、どのような対策を講じているか。



▲津波の爪あとの残る被災地の現状(宮城県亶理町)

答 平山建設経済部長 岸壁等の漁業施設については、定められた設計震度によって建設されているが、災害後の水産物の安定供給の必要性から一部の陸揚げ岸壁等では、より整備水準を上げて耐震化を図っている。

漁業拠点となる建物については、所有する漁業組合などにより防災対策を実施していただいているが、町としても、大切な産業を守るため、国や県などに補助を積極的に働きかけていく。

また、災害時に漁業無線が有効だったという教訓から、漁業無線局など情報伝達施設のバックアップ体制の構築に努めていく。

結婚支援事業の継続について

問 農業や漁業は、本町の産業を根底で支える基幹産業であり、観光や水産加工業などと深く関わり、南知多の魅力形成し、特色付けている。平成23年度には、本町の産業の振興や後継者の確保・育成を図るため、未

婚者支援事業として婚活パーティーを実施していただいた。本年度の実施予定と今後の見通しはどうか。

答 本年度は、平成25年1月19日に豊浜にてカップリングパーティーを実施する。この実施結果を踏まえ、問題点、改善点を精査した上で、来年度も引き続き実施したい考えである。

問 11月に美浜町で行われた婚活イベントは、未婚の男女が多数参加し、町内外で大きな話題となった。本町でも実施できれば、町のPRとともに大きな効果があると思われるが、積極的に検討してみてもどうか。

答 美浜町で実施されたイベントは、テレビ局が開催する婚活応援バラエティ番組で、町内外から注目され、町の宣伝としては、現在の未婚者支援対策事業を着実に実施していきたいと考えている。

暴力団の追放運動について



榎本芳三議員

問 南知多町は23年、24年に暴力団追放パレードを実施してきた。パレードのコースは、内海町民グラウンドを出発して西海岸、吹越、浜岡部中之郷の三地区の海岸を呼帆荘より左折して北に向かい名鉄グラウンドで終点のコースだが、西端地区の海岸には、たくさん

答 呼帆荘の観光客がいる。呼帆荘で曲がらず白砂の湯まで延長し折り返し、豆千で右折し名鉄グラウンドのコースの方が、パレードの効果があると思うが、いかがか。

答 渡辺総務部長 暴力団追放パレードについては、平成23年度に続き、本年度も海水浴シーズンを迎えた7月上旬に実施した。パレードのコースは、集合場所の駐車場の確保や暑い時期での参加者の負担なども

考慮してコース、距離を設定している。来年度も効果を高めることができるよう半田警察署や地元団体と検討していく。

問 夏の内海海岸は、観光客、特に親子連れが避けて通る状況で秩序が乱れているが、町は何か対策を考えているか。

答 海水浴シーズンの内海海岸に、人への迷惑行為を感じない雰囲気

の若者や外国人等の増加に加え、一部の営業関係者には暴力団の方が含まれているのではとの話もあり、このような全体の雰囲気、親子連れに避けられているのではと考える。犯罪防止意識の高揚及び暴力団排除の機運を高めるため、青色防犯パトロール、安全なまちづくりのチラシ回覧、街頭キャンペーンや街頭パレードを引き続き実施する他、暴力団排除講習会の開催や警察署との合同防犯パトロールをしたい。事業の実施にあたり地元関係団体の協力

が重要であるので具体的な内容は協議して進めていきたい。

防災倉庫の見直しについて

問 町が管理している防災用の備蓄倉庫は、海抜五メートル以上に設置されたもの、また海抜五メートル以下のものと分けそれぞれいくつあるか。

答 町が管理している防災用備蓄倉庫は町内の五地区の大規模災害用拠点基地に設置している。海抜五メートル以上に設置されたものは、町総合体育館、篠島中学校、日間賀小学校の三カ所で五メートル以下は、内海中学校、師崎中学校の二カ所である。

問 設置場所を高台か施設の屋上に移してはどうか。

答 現在の防災倉庫の設置場所は津波災害を想定してなかつたので今

後は津波災害に配慮して高台への設置を検討していく。

内海高校面の道路舗装について

問 この道路の管理は、県なのか町なのか。西側の道路は町道一〇〇一号線だが県との境界があるので舗装できないのか。例として約五〇数年前、園芸試験場を造り、内海高校になり多くの近隣の農家の方の協力

で今があると思うが、五〇年近く舗装されていない状況をどう考えるか。

答 平山建設経済部長 舗装の実施については、地元区と協議し検討していきたい。



▲内海高校西側の道路

若者の定住化対策の促進を

国勢調査 5歳階級別 人口（15～54歳） 単位：歳、人

年齢区分	平成12年	平成17年	平成22年
15～19	1,308	1,221	990
20～24	1,366	1,140	1,195
25～29	1,263	1,007	928
30～34	1,165	1,156	938
35～39	1,396	1,142	1,069
40～44	1,439	1,385	1,087
45～59	1,606	1,391	1,363
50～54	1,872	1,580	1,341

問 国勢調査によると平成12年～22年の人口の変化は、次のようになる。



竹内壽一議員

問 平成24年度の予算に計上した事業として遅れたと思われるが、それはなぜか。

答 平山建設経済部長
観光協会事務局長は平成24年11月に内諾を得た。平成25年1月より勤務していただき他に事務職員一名を雇用する予定で事務局体制は、現在の案内所臨時職員二名と併せて四名体制で平成25年度からスタートしていく予定である。

平成12年の一五歳～二四歳の世代は、平成22年になると八〇八人の減少で、平成12年の三五歳～四四歳の世代は、平成22年では、一三一人の減少となり、若者世代の減少が突出している。
町としては、当然若者の住みやすいまちづくりに向けて施策をしなければならぬと思うが、若者に働く場を提供する産業振興の一つである「観光協会の事務局体制」について現在どのようなようになっているのか。

問 南知多町に住みながら他市町で働く人のための環境づくりは、交通網の整備が欠かせない。通勤通学にあまり便利とはいえない地域公共交通を安心して通勤通学ができるように変えていくことについてどのような

答 平山建設経済部長
「人農地プラン」は9月末に完成し経営開始型の青年就農給付金の給付対象となる新規就農者を、地域の中心となる経営体として位置づけ、給付金の給付を開始した。

問 「人農地プラン」はどのようなように進んでいるか。
答 石黒和彦町長
この町にとつて観光業の占めるウエイトが大きいと考えて予算に計上したが、本年度内に体制が整えばよいと考えていた。

問 南知多道路、知多半人にとって欠かせない道路である。通勤割引を導入するように県に働きかけをしてほしい。

答 齋藤企画部長
地域公共交通は、町民が安心して暮らすことのできる公共交通を町民と行政の協働の取り組みによって実現することを目指す。基本理念とする「南知多町地域公共交通総合連携計画」に基づき実施している。平成25年10月から本格運行に向けて、安全・安心な地域公共交通を構築していくと考えている。

考えているか。



▲10月から本格運行される海っ子バス

答 大森教育長
意見や提言については、教育内容のチェックや点検評価になる。今後の事業改善に生かしていく。

問 学識経験者等の貴重な意見や提言がなされている報告書をどのように扱おうと考えているか。

答 平山建設経済部長
現在ある割引制度をさらに拡大、拡充すると共に料金の値下げを含め他市町と連携して県へ働きかけていく。

答 教育委員会活動の点検及び評価の結果に関する報告書について

内海バイパス完成に向けて



松本 保議員

問 内海バイパスは、今年度開通すると聞いている。しかしながら今回の開通は、接続部分の交差点改良が未完了である。安全で安心なまちづくりが必要である。

答 内海バイパス、国道二四七号の交差点改良予定はどのような計画があるのか。

答 平山建設経済部長
内海バイパスと国道二四七号の交差点は国道からバイパスに入る右折車線を整備し、信号交差点を計画している。

問 右折車線の整備の現状はどうか。また、夏場の交通渋滞が予想されるが、対処方法はどうか。

答 交差点部は、今年度より用地交渉を進めているが、難航している。

夏場の交通渋滞はバイパスの開通による状況を見ながら、県と共に対策案を検討していきたい。

問 他の交差点での改良箇所は、どのような交通安全対策がなされているのか。

答 本年度、内海バイパスと接続する町道の一部路線の拡幅及びカラー舗装工事等の道路改良事業を行っている。また、警戒標識、看板の設置等交通安全対策を検討していきたい。

問 新しく設置された交差点は急にできると、住民の方々が戸惑うことがある。住民への周知はどうか。

答 内海バイパス開通により道路通行の流れが変わることが予想され、交通安全には十分に注意する必要がある。そのため、町広報・町ホームページ・ケーブルテレビ等により交通安全の啓発を行っていききたいと考えている。

問 内海バイパスと主要地方道半田・南知多線との今後の連絡道路はどのように考えているのか。

答 内海郵便局の前の道路は、道路拡幅の計画があり、今後、交通状況をみながら地元区と検討していきたいと考えている。

問 内海第二土地区画整理事業地区内の主要道路として今後どのように考えているのか。

答 旧内海第二土地区画整理事業予定地区内の主要道路は、内海地区の骨格をなす道路であり、今後、利便性の向上を図られ、地区全体の発展に寄与し、海水浴シーズンなどの交通渋滞の緩和にもつながっていくものと考えている。

問 内海バイパスは、区内で一部が第一種低層住居区域となっており、区画整理の話も現在あまり聞かない。このようなかた、内海バイパスが開通する。今後の町の計画はどのようになっているか。また、都市計画の変更は考えているか。

り、区画整理の話も現在あまり聞かない。このようなかた、内海バイパスが開通する。今後の町の計画はどのようになっているか。また、都市計画の変更は考えているか。

答 町のマスタープランにおいては、内海中学校南交差点から国道二四七号までの沿線は沿道複合地区として位置づけられ観光客に対応した店舗等を誘導する地区の形成を促進していくことになっている。都市計画の変更は、内海第二土地区画整理事業が長引く景気の低迷と土地の流動化の鈍化等により事業化は非

常に厳しく困難な状況となり、景気情勢の好転のありには再び事業化を検討するということで平成11年7月に休止した。現在、面的整備ができていないので変更は難しいと考えている。

問 今後の都市計画道路を延長する考えはあるのか。

答 名鉄内海駅から東へ向かい主要地方道半田・南知多線と交差する内海駅東交差点から南知多インターまで都市計画道路の計画はあるが現段階では事業化は難しいと考えている。



▲新しく開通する内海バイパス

子育て環境の整備について



鳥居恵子議員

問 子どもの医療体制の確立は、安心して子育てをしていく上で欠くことはできない。町は、子育て環境の整備のため、どのような対策を実施したか。

答 早川厚生部長

医療体制として、平成24年10月診療分から医療費助成の対象年齢の拡大を実施している。入院については、一八歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもは、医療保険自己負担額の全額を助成し、通院については、小学生までは、医療自己負担額の全額を助成、中学生から一八歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子どもは、医療保険自己負担額の二分の一を助成している。

保育料軽減事業として、平成24年度から同一世帯・

同時入所二人目以降の児童から無料としている。保育所の整備については、子どもたちが、年間を通じて快適に過ごせるように全保育室に空調整備を完備し、また、和式トイレを洋式トイレに改修している。保育内容の充実については、障害の有無に関わらず、できる限り子どもを受け入れている。今後においても、保護者や保育士などの意見や要望を聞いて重要度・優先度を考慮しながら、保育所の整備、保育内容の充実に努めていく。

問 知多厚生病院では、小児科の常勤医師がいない状態が続いている。子育て中の若者達に日常の不安を抱かせる。改善の見込みはどうか。

答 知多厚生病院に対して、常勤の小児科医師の確保を働きかけ、また具体的な支援策の要請に

対しては、中・長期的展望に立つて必要な支援を行うことを伝えているところであり、その結果、

知多厚生病院の積極的な努力もあり、平成25年1月から常勤の小児科医師の赴任が決定し常勤と非常勤、一名づつの体制で外来診療に対応していく予定だが、入院対応がまだできないので引き続き要請していく。



生活していきける町としての産業振興対策を

問 これまでに行ってきた産業振興策とその効果はいかがか。

答 平山建設経済部長

農業は、環境保全型農業直接支払交付金、経

営体育成支援事業、青年就農給付金などの補助事業を実施することにより有機農業の推進や担い手の確保と支援に効果があると考える。

水産業は、栽培漁業振興対策事業を実施することにより漁獲量の増加が見られ、漁業者の所得向上と生活基盤の安定に効果があったと思う。また漁業設備の近代化資金に対し利子補給補助を行うことにより生活基盤の強化に努めている。

商工業は小規模企業等振興資金の見直しをして負担軽減を図り、振興に役立ったと考える。

観光は、ライフセービング国際大会の誘致、篠島矢穴石の名古屋城への展示、師崎展望台の改築、また本年度から篠島の玄関口である渡船施設を整備し水産業と観光業が連携した産業振興を図っていく。

問 産業活性化に向けた今後の取り組みはどうか。

答 地元の農水産物を使った新たな加工品の開発やブランド化を支援し産業の活性化を図っていく。観光業においては、「観光のまち」南知多町」そのものをブランド化するためPRに取り組みさまざまなイベントを誘致することにより魅力ある観光地として交流人口の増をはかり新たなビジネスとそこから生まれる雇用の増大などにより産業全体の活性化を図っていく。

問 産業振興や地域振興の今後の進め方について地区との連携等をどのように考えているか。

答 齋藤企画部長

今年度より協働と連携のまちづくり推進を目的に、まちづくり協議会が主体となって実施する事業に対し、事業費の三分の二を助成することとし、各地域で二〇件の事業を実施している。

障がい者が安心して暮らせる町づくりを



山下節子議員

問 6月議会でも取り上げたが、三障害一元化とはいえ精神障害者は、一般医療の無料化がされていない。親も子も高齢化し将来をとても心配している。前向きに検討すると言われたが、どのように前進したのか。

答 早川厚生部長 本町においては、精神障害者保健福祉手帳一級及び二級の交付を受けている方を対象に平成25年10月診療分から全疾患の入院及び通院分の医療保険自己負担額の全額助成を実施したいと考えている。

問 障害を持った方が、病院を退院しても戻る場所のない方もたくさん見える。このため、安心して暮らせるケアホーム、グループホームは切実な要求である。ケア

ホーム、グループホームの建設には地域住民の理解が不可欠だが町はどのように考えているのか。

答 障害を持った方が安心して暮らせる施設は、必要な施設と考えている。またそういった施設の建設には、地域住民の理解が大切だと考えている。

火葬場の改築に命の尊厳を

問 知多南部衛生組合所管の火葬場は、五〇年程たち老朽化が進み改築の話を進めていると聞きますが、建て替えの時期はいつごろか。人間の命の尊厳と家族の苦労に安らぎを与える施設に改築すべきではないか。他の市町でペットの火葬をするのは肩身のせまい思いをする。家族と共に過ごしてきたペットを皆で見送りたいという思いがあるのと同じ場所で火葬できないかという強い要望がある。人間の命もペットの命も重さは同じ

である。見解を伺う。

答 施設の老朽化は元より施設への進入路の利便性や駐車場の問題もあり両町とも火葬場の整備は急務であると考えている。平成23年度から両町の副町長を中心に火葬場検討委員会を立ち上げ現施設での改築の可能性や、新たな建設予定地も視野に入れ新火葬場の建設目標を平成32年度とし委員会を月に一回程度開催しており今後は、基本計画の策定をしていく。ペットの火葬については、知多南部衛生組合では実施していないため、他の施設を利用していただいている。新火葬場の基本計画にはペットの火葬も計画していきたいと考えている。



知多南部広域環境組合について

問 11月中に本町も二市三町の広域ゴミ処理施設建設候補地を広域環境組合に報告することになりませんが本町として建設候補地を組合に報告されたか。

答 本町の候補地としては、地元の合意は未定だが、内海宇樫木地内の知多南部クリーンセンターを候補地として11月28日に広域環境組合に提出した。

問 現予定地で建設を続ける場合有害物の除去は、地権者が行った後、組合に貸与すべきと考えるが、その場合の負担はどのようになるのか。

答 今回のダイオキシン類の除去については、今後協議されることになる。

問 ごみ処理の広域化計画を白紙に戻し、こ



れまでの形態で焼却行政を進めるべきではないか。

答 ごみ処理は、住民生活に密接しており生活に支障をきたさないよう施設の更新計画を立てることは、行政の重大な責務と考えている。今回計画地からダイオキシン類などが検出されたことによる対策工事や、他の候補地と比較検討することは、大きな問題ではあるが、現時点では二市三町の枠組みの変更は考えていない。

表紙の写真

豊丘乙方の弓祭り

毎年1月4日、乙方の熊野神社で古くから行われている神事。一年の農作物の出来を占う14日に行われる「おためし(粥占い)」と対になっている。

射手は乙方の右座と左座の二座に所属する家の人たちから毎年交代でそれぞれ一人選ばれる。

今年は、右座を石黒信次さん(四一)、左座を齊藤勝範さん(二五)が務めた。

本殿で羽豆神社の宮司のご祈禱の後、境内で二人は八メートルほど離れた木製の的をねらい六本ずつ矢を射った。

そのうち三本が命中し、拍手と歓声が上がった。その後、本殿裏の杉の太木の周りで宮司により祭文が読まれ、参加者全員で「エンエン」と声を上げた。今年が良い年になる。

◇ 議会 会 日 誌 ◇

《11月》

- 6日 県町村議会議長会行政調査
- 7日 総務建設委員会管内視察
- 9日 町村議会議長会全国大会
- 14日 常任委員会合同行政視察
- 16日 県との行政連絡会
- 19日 文教厚生委員会管内視察
- 22日 議会運営委員会
- 30日

《12月》

- 6日 議会全員協議会及び議員懇談会
- 11日 12月定例議会(初日)
- 14日 文教厚生委員会
- 17日 総務建設委員会
- 20日 12月定例議会(最終日)
- 26日 議会全員協議会
- 知多南部衛生組合議会
- 知多南部消防組合議会

《1月》

- 16日 地域公共交通対策特別委員会
- 22日 議会広報特別委員会
- 28日 定例郡議長会
- 29日 地域公共交通対策特別委員会



皆
の
声
を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後の
ご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。
TEL 05-0711 (内線3001) FAX 05-0694
E-mail gikai@town.minamichita.lg.jp

< 3月定例会 > お気軽に傍聴に来てください。
傍聴の受付は、8時30分～ 役場2階総務課へ

3月5日(火) 9時30分 本会議初日 (開会・一般質問・議案上程)
3月21日(木) 9時30分 最 終 日 (委員長報告・採決・閉会)

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、
3月17日(日)午前10時 地上デジタル12ch(121)
18日(月)午後10時 地上デジタル12ch(122)

編集室より

巳年に思う

今年、巳年。蛇は人の関係が深く、信仰の対象になってきた。見た目とは裏腹に「知や富」をもたらす縁起のいい動物だといわれている。

巳年のスタートの「広報みなみちた」で町長も議長も新年のあいさつに「産業振興」を平成25年の一つの柱と述べている。巳年の「知」が産業振興に光をもたらす「富」を築くものと信じていたい。

町民・町・議会が一体となって産業振興に積極的に取り組むことよって、南知多に「知と富」をもたらすと思う。

時を同じくして年頭の会見で大村県知事が「日本一の産業集積力という愛知の強さをさらに高めてゆく」と産業振興に力を入れると表明した。

まさに「機運可乗」で、時のめぐりあわせに乗って南知多の発展を願う。

町のホームページ
http://www.town.minamichita.lg.jp/
ホーム＆暮らしの情報＆議会

再生紙使用